

スキークラブニュース

2017年9月号

発行責任者 T.K.

事前周知！ 2017年度定例スキーツアーは下記日程で実施します

岩原高原ツアー 1月26日（金）～28日（日）

尾瀬岩鞍ツアー 2月17日（土）～19日（月）

9月号は**安全特集号**です

寄稿 安全対策について

I.K.

初めて参加した2015年1月岩原ツアーでの第一印象はとにかく「滑りが速い！」でした。

前方はもちろんのこと、左右、後方まで見回して衝突しないよう誘導しつつ、斜面の変化や雪質をブラインドスキーヤーに伝える、その重責に押しつぶされそうでした。スキー歴の中でこれほど後ろを見ながら滑ったことも、目から入る情報を脳で処理して大声に変換することも経験が無く、カラダよりアタマが疲れ果ててしまったことをよく覚えています。

「安全」とは、広辞苑によると「物事が損傷したり、危害を受けたりするおそれのないこと」だそうです。雪の付いた斜面を滑走するスキーは本質的に「安全」とは言えないスポーツと言えます。しかし、ブラインドスキーヤーは白杖やロープ、誘導者の肩などを頼らず、自分ひとりで風を切って滑る感覚に魅力を感じているに違いなく、晴眼サポーターもそんなブラインドスキーヤーの目の代わりとなって誘導することが

かながわフライndsスキークラブ 2017秋のイベント

「金沢文庫の散策をして、野島公園でバーベキューをしよう！」

皆様いかがお過ごしでしょうか。暑かったような、涼しかったよ
夏も終わり秋イベントの季節になりました。今年の秋イベントはし
体力アップの散策をした後に、おいしいバーベキューを食べてもら
企画になっています。



食材も、今回は持ち込みで力を入れています。とても環境の良い
海に囲まれた野島公園で、みんなでバーベキューをしましょう。

時間はたっぷり取ってありますのでメンバーとの交流を楽しみながら

おいしい料理と、お酒と、楽しい時を、堪能しましょう。

ご家族、ご友人お誘いの上、奮ってご参加下さい。

【実施要項】

日時：2017年10月1日（日）

参加費：3500円 バーベキュー料金と、ドリンク代

お酒代は、別料金で徴収します。1000円前後想定。もちろん、お好みのお酒を持ち込んでもOKです。

集合場所：京浜急行 金沢文庫駅改札 10時集合 改札は1か所です。

解散場所：横浜シーサイドライン 野島公園駅 16時30分解散

持ち物：日差し除けの帽子、虫よけスプレー、レジャーシートなど必要に応じて

帰りの誘導について

ブラインドの方で希望される方は、シーサイドライン金沢八景と京浜急行金沢八景の間の誘導をします。

天候によるイベント中止の連絡について

10月1日の天候が雨と予想される場合、9月28日木曜日までに電話連絡させていただきます。

人数の変更と、キャンセルについて

今回食材と、お酒を、持ち込みで開催します。29日に食材を注文しますので人数の変更や、欠席の場合
は出来る限り9月28日木曜日までにご連絡をお願いします。

【スケジュール】

10時：金沢文庫駅から散策開始。称名寺と金沢文庫の散策。海の公園を通り、野島公園へ。

11時30分：野島公園バーベキュー場で、バーベキュー開始。

16時バーベキュー終了

16時30分：シーサイドライン 野島公園駅解散

【参加・不参加の連絡】

① 名前、②参加人数、③お酒希望者数、④帰りの誘導希望（ブラインド）を、おしらせください。

返信はがきの宛先は、S.S.まで。メールの返信先は、イベントメールアドレスです。

【返信締切日】

返信締切りは、**9月20日（水）必着** ふるってご参加ください！

【問合せ先】

その他何か不明な点がありましたら、担当役員まで問い合わせください。

担当役員 O.M.

留守番電話になることが多いので名前と簡単な要件を残してください。

折り返しお電話させていただきます。

【イベントの出欠について（はがき）】

金沢文庫の散策をして、野島公園でバーベキューをしよう！

- ① イベントに参加、ソフトドリンクを飲みます。
- ② イベントに参加、ソフトドリンクと、お酒を飲みます。
- ③ 友人、ご家族と参加〇〇人で参加、お酒を飲むのは、△△人で
- ④ イベントに欠席



ブラインドの方で帰りの金沢八景の誘導

- ①希望します。
- ②希望しません。
- メモ：

【同封はがきの記入方法について（同封されていない人はメールで回答して下さい）】

はがきの切り落とした角を左下にした場合の上対角線にあたる右上の部分を切り落とした場合は参加と
します。会員以外も参加する場合は人数を数字で回答して下さい。

お酒を希望される方は丸印を記載してください。

ソフトドリンクのみでよい方は、×を記載してください

会員以外の方が参加される方は、数字の下に、自分の分も含めて○か、×を、人数分記載してください。

ブラインドの方で、帰りのシーサイドラインの金沢八景駅と京浜急行の金沢八景駅の誘導が必要な方は
左上角を切り落としてください。

そして、下側3分の1に「メモ」欄を設けました。何か連絡がありましたら、墨字、点字どちらでも結構
ですので、記入下さい。

はがき回答が困難な場合はお手数ですが、実行委員（担当役員）O.M.までお電話でご連絡下さい。留守
番電話になることが多いので名前と、簡単な要件を残してください。折り返しお電話させていただきます。

なお、視覚障害会員宛の回答

はがきには表面（宛名面）下側に回答者の住所、氏名シールを貼っていますので、裏面（回答文面）への氏
名記入は省略して構いません。

晴眼者は宛名面にシールを貼っていませんので、回答欄の最後に必ず氏名をご記入下さい。

以上

楽しいのは私自身の体験からも明らかです。

スキー場はさまざまなレベルの人が滑っており、滑走スピードも違えば、混雑している場所もあります。ゲレンデも管理されているが自然の地形であり、逸脱の恐れもあります。そんな中を滑るので完全な「安全」はありえないが、自らの注意で「より安全」に滑ることはできます。実力以上のスピードを出さず、混雑していたら人が少なくなるタイミングまで待ち、できる限りコースの真ん中を狙うといった、基本的なことが最も重要だと感じています。

ブラインドスキーヤーのレベルは上がっているが、晴眼サポーターの年齢も年々上がっているクラブの現状を考え、「1本でも多く」よりも「この1本の滑りを大切に」の意識で滑れば、結果的に「安全」で「満足できる」滑りができるのではないのでしょうか。3シーズンしか経験していない新米サポーターの率直な気持ちです。

I 総会第二部 意見交換会

役員会/2016年度スキー実行委員会担当 N.T.

5月に開催された総会の二部では「BSにおける『安全に滑る』について考えよう」というテーマで、全体で意見交換会を実施しました。

■背景：2016年度の岩原・岩鞍両ツアーにおいて、事故が3件発生し、いずれも傷害保険適応対象でした。

この現状を踏まえ、来年度は事故/ケガを未然に防ぐため、クラブ全体で安全に滑るためにどうすればいいか具体的な行動を検討し、安全意識の向上を目指さなければなりません。

■実施内容：2016年度ツアーにて実際に起きた事故事例を元に、役割ごとに安全に滑るためにはどうすべきかについて考えました。

■詳細（全体で出た意見のまとめ）

以下、全体で出た意見を役割ごとにまとめました。

1.リーダー/サブリーダー

- ・リーダーは常に客観的に全体状況の把握が重要
- ・滑走前にリーダー/サブリーダーのタスクの再確認が必要

（サブリーダーが前走し、リーダーが最後尾を滑り全体を把握するという基本体制）

- ・各パートナーは、滑走のテーマを決めて滑走する

（ブラインドの技術向上、経験浅いパートナーの誘導技術講習等）

- ・経験浅いパートナーの誘導技術指導の場合、経験浅いパートナーの後ろに必ずベテランパートナーを配し、

声掛け、コース取りの指導とともに外部からの影響を抑制するよう滑走する

- ・滑走前にメンバーの体調を確認/把握し、全体の疲労度を勘案したコース選択が必要

2.パートナー/サブパートナー

①滑走前

- ・滑走前にコースの説明が必要（斜度、幅、長さ、斜面の傾き、雪面の状況、混み具合等々）
- ・サブパートナーは常に周りに気配りをし、何時でもパートナーのカバーが出来るようにする

（事前にパートナー/サブパートナーで話し合う）

- ・経験浅いパートナーには必ずベテランパートナーを組み合わせる
- ・ベテランパートナーは経験浅いパートナーの後ろからついていきながら、声掛けやコース取り等誘導技術

の講習をする

- ・前走をベテランパートナーがする場合、後ろの状況がわからないため注意が必要

②滑走時

- ・誘導技術の基本は以下の通り
 - 間断なく声を掛け続ける
 - 早めの声掛けが必須（ブラインドはすぐに対応できない）
 - ブラインドとの間隔を空けない
 - 滑走時のコース取りはゲレンデの真ん中を滑走する
 - 安全のための声かけ、「止まれ！」「転べ！」に躊躇しない

③滑走后

- ・一本滑ったらペアでレビュー（テクニックに限らず声かけに対する要望等）

3.ブラインド

- ・声が聞こえない時は直ちに止まる
- ・声の大きさ、タイミング、コース取り等パートナーに対して遠慮なく要望する
- ・急停止、安全確保のための転倒の練習
- ・声が聞こえづらい場合は、ブラインド自身で拡声器を持参しパートナーに使用してもらう

4.クラブ全体としての取り組み

- ・経験浅いパートナーの立ち上がりをサポートできるクラブ全体の体制が必要
(緊張や不安から適切な声掛けができない、誘導技術のあり方がわからないなどの支援)
- ・ブラインドのスキルが上がってきているのでパートナーのスキルアップが課題
- ・ツアーにおけるブラインド参加者数の制限を今後実施する
(ブラインド1名に対しパートナー2名、1グループに対しリーダー/サブリーダー1名ずつの原則を守る)

- ・前日に飲み過ぎず、しっかり睡眠をとる（二日酔い、疲れは油断の元）
- ・サブパートナーのタスクの明確化
- ・誘導の文言の統一とブラインド、パートナーの理解の共有化

■まとめ

クラブの課題として、まずは経験浅いパートナーの誘導技術の向上が必要と思われます。経験浅いパートナーは皆さん共通して、これまでの一般のスキー滑走から「声を出し続けて他者を誘導しながら滑る」という滑り方に大きなギャップや誘導への不安、緊張、プレッシャーを感じており、誘導時に声がかたくなりに出ない、言葉を間違えてしまうなどが起きてしまう。

今後は、短期間ではなく長期的に見据えた技術指導を実施しながら経験を積んでいただくよう取り組んでいきたい。また、リーダー/サブリーダーとパートナー/サブパートナー等の班の各役割について、クラブ全体での継続的な講習等が必要と思われる。各役割については以前よりマニュアル等で定まっているが、全体への展開ができていないところがあるため、今後は研修会やツアー当日の周知、及び各班内におけるコミュニケーション等により、継続的に周知徹底、その都度改善を実施するよう取り組んでいく必要がある。

以上

クラブ説明会の開催について

役員会/事務局 S.M.

来たるシーズンの安全・安心なスキーの実施に向けて2017年度のクラブ説明会を開催いたします。会員皆さんの積極的な「口コミ」と「勧誘」で、より多くのブラインドがツアーに参加出来るようご協力をお願い致します。

今年度の「かながわブラインドスキークラブ入会説明会」を次のとおり開催します。

<日時> 10月21日(土)及び10月22日(日)、両日ともに14:30~16:30

<場所> ライトセンター 2階 第3講習室

<内容> ①視覚障害とブラインドスキー ②視覚障害者への接し方 ③ブラインドスキーの実際

④スキークラブについて ⑤ その他

ブラインドスキーの安全・安心には、ブラインドスキーと視覚障害についての理解は欠かせません。初参加の方はできる限り入会説明を受けていただくようお願いください。

もし、入会希望者の日程が合わないようでしたら、追加開催や個別の実施も検討できますので事務局にご相談ください。

シーズンイン研修会のお知らせ

役員会/イベント実行委員会担当 K.N.

今年度の「シーズンイン研修会」を以下のとおり開催します。ガイドライン検討委員会の成果報告及び2017年度スキーツアーに向けた準備です。ツアーに参加を予定される皆さんは日程確保いただき、出席ください。

<日時> 12月9日(土) 13:30~16:30

<場所> ライトセンター

<内容(案)> 「(仮)ブラインドスキーガイドラインの理解と実践」に向けて

夏のイベント報告

役員会/イベント実行委員会担当 T.M.

大人の避難訓練と題した夏のイベント、横浜市民防災センターに行ってきました。改めて防災について考える良い時間となったと思います。参加者それぞれの感想がありました。

「犬にも地震体験をさせることが出来て良かった。意外と落ち着いていた」

「遅刻したおかげで心の準備が出来ず、実際に近い状態で体験できた」

「体験機材がハイテク過ぎて、消火器の反動が感じられず残念だった」

「近所との関わり合いが大切。しかしながら、疎遠が進んでいるが現状」

「一般論では通用しない面が多々ある。」「今回、体験は出来た。実際にそこからどう行動すれば良いのか具体的に知りたい」

お昼には、屋内スペースにレジャーシートを敷き詰めて靴を脱いで座り、お弁当を広げました。場所だけに、避難所のワンシーンのように感じました。

そして午後三時、防災センターを後にして二次会のビアガーデンへ。日の高いうちからのビールが格別だったのは言うまでもありません！

真面目に勉強もし、美味しくいただき、盛りだくさんな夏の一日となりました。



ご寄付をいただきました。

役員会/会計担当 F.A.

この度、ファンケルグループの有志の社員様による「もっと何かできるはず基金」ならびに、株式会社ファンケル様より「マッチングギフト」として、ご寄付をいただきました。こちらは、ファンケルグループ社員であり、当クラブ会員の方からのご紹介によるものです。皆様のあたたかいお気持ちに感謝いたします

シーズンイン雪上研修会開催! 第1報

ブラインドスキー・サポートガイドライン検討WG：Y.K. / T.M. / S.M.

11月23日(木・祝日)の午後、スノーヴァ新横浜で、パートナーを対象に「シーズンイン雪上研修会」

を開催します。集合場所や内容、参加費など**詳細は次号**でお知らせしますので、新人も、ベテランも、皆さん、日程を空けておいてくださいね。お願いしま〜す!!

////////////////////////////////////
広報担当：K.N. 編集協力者：I.K.
////////////////////////////////////